



# 道標

みち

しるべ

2014/1/23

NO. 93

〈編集・発行〉

東中3年

進路指導部

## 《面接指導スタート》

面接指導が始まりましたが、上手い出来ない人も多く見られました。

せっかくの面接指導です。しっかりと準備をして臨みましょう。

以前載せた注意事項を再掲載します。

(「道標」NO.85より)

## 《面接講座を終えて、 次のことにも気をつけよう》

- ・ カーディガンを脱ぎましょう
- ・ 名札をつけましょう
- ・ マスクは取りましょう
- ・ スカート丈に注意！  
→ひざが出ているのは×
- ・ 学生服の裏ボタンは大丈夫？
- ・ 語尾がはっきり聞こえるように！
- ・ 言葉を言ってから、礼をしよう
- ・ 入退室では、目線を斜め上にしよう
- ・ 質問後には必ず「はい」という返事をしよう
- ・ 「あっ」「え〜と」などの言葉を省きましょう

これは、12月の面接講座を終えて、気づいたことをまとめたものです。

もう一度、自分はどうなのか振り返りましょう。

また、「志望の理由」や「入学したらしてみたいこと」などの質問には必ず答えられるようにしておかないといけません。

面接では、当日の服装や髪型を見られる他、面接日までどんな努力や準備をしてきたかも見られます。

答えられないということは、準備不足と見られてしまいます。

## 先輩からのアドバイス

私が入試会場へ行って思ったことは、周りの受験生全員が自分よりもはるかに学力が上だと見えたことです。入試直前の手にとっているワークやプリントも、ものすごく気になったし、面接ではしゃべっていること全てが賢そうに聞こえたりして、とても恐ろしかったです。そして、緊張しました。

私立では、一教科、試験が終わる度に廊下へ出て、問題用紙と解答用紙を集めるけど、その時、廊下でしゃべっている会話さえ、気になるほどでした。

私は、そのとき自分がものすごく他の人より劣っている様に思いましたが、自分で「ここまで頑張ってきたから大丈夫」と言い聞かせ、試験に臨みました。

〈 昨年度の女子卒業生 〉

## 進路担当より

上の文章のような感覚を味わうのが、入試なのかも知れません。最後は、自分を信じる気持ち大切です。

そのためには、自分で納得するまで、努力することです。それが自分を信じることに繋がります。

先輩たちからのアドバイスからも、学ぶことは多いですね。

**「手を抜いたら 力はつかない  
雑になったら 成長しない  
すべての向上は  
意識することから始まる」**

もう一度、上の文章の意味を考えてみてください。